

送りがなプリント はってん①(もとの かたちにもどす)

なまえ

小3/もとの 形に もどす(1/5)

ひづけ

形が かわった ことばを もとの かたちにもどす

文の 中の かたち

放した

→

もとの かたち

放す

もとの かたちを 声に 出して 言ってから、かん字の あとに 送りがなを 書く。

線の ことばを、もとの かたちにもどして かん字の あとに 送りがなを 書こう。

(1) なつの ひるは とても 暑かった。

もとの かたち

暑

(2) つぎの しあいは ぜったいに 負けない。

もとの かたち

負

(3) かみを 短く かった。

もとの かたち

短

(4) まいあさ ろくじに 起きます。

もとの かたち

起

(5) この かばんは 軽くて ちやすい。

もとの かたち

軽

(6) 「いっしょに ピアノを 習おう」と さそった。

もとの かたち

習

(7) ともだちは だれより 速く はしる。

もとの かたち

速

(8) ボールを つよく 打って みた。

もとの かたち

打

(9) にもつを いれすぎて かなり 重かった。

もとの かたち

重

(10) にわに ひまわりを 植えた。

もとの かたち

植

(11) この スープは 温かくて おいしい。

もとの かたち

温

(12) みちを みぎに 曲がった。

もとの かたち

曲

できたら:もとの かたちを 声に 出して、文の かたちと くらべて みよう。



送りがなプリント はってん①(もとの かたちにもどす)【こたえ】 なまえ _____

小3/もとの 形に もどす(1/5) ひづけ _____

形が かわった ことばを もとの かたちにもどす

文の 中の かたち 放した → もとの かたち 放す

もとの かたちを 声に 出して 言ってから、かん字の あとに 送りがなを 書く。

線の ことばを、もとの かたちにもどして かん字の あとに 送りがなを 書こう。

(1) なつの ひるは とても 暑かった。

もとの かたち 暑 い

(2) つぎの しあいは ぜったいに 負けない。

もとの かたち 負 ける

(3) かみを 短く きった。

もとの かたち 短 い

(4) まいあさ ろくじに 起きます。

もとの かたち 起 きる

(5) この かばんは 軽くて 持ちやすい。

もとの かたち 軽 い

(6) 「いっしょに ピアノを 習おう」と さそった。

もとの かたち 習 う

(7) ともだちは だれより 速く はしる。

もとの かたち 速 い

(8) ボールを つよく 打って みた。

もとの かたち 打 つ

(9) にもつを いれすぎて かなり 重かった。

もとの かたち 重 い

(10) にわに ひまわりを 植えた。

もとの かたち 植 える

(11) この スープは 温かくて おいしい。

もとの かたち 温 かい

(12) みちを みぎに 曲がった。

もとの かたち 曲 がる

つまずきやすいところ

もどした あとの 送りがなは「もとの かたち」の 送りがな(暑い→い、負ける→ける)。活用形を そのまま 書かせない。
ない・ます・よう や かった・くて の 形も、もとの 形では 同じ 語に なる。

採点：漢字の あとの 送りがなだけで 正(もとの 形全体の ひらがなは 書かなくて よい)。